

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの経過措置で使用できます。

CASBEE® 広島 (2010年ver. 1.8)

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE広島 2013年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) ■ベース評価ソフト：CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	安田女子大学 新1号館	階数	地上5F
建設地	広島県広島市安佐南区安東6丁目1	構造	RC造
用途地域	第一種低層住居専用地域他	平均居住人員	700 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	0 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年8月 予定	評価の実施日	2015年2月28日
敷地面積	123,071 m ²	作成者	小林哲哉
建築面積	3,457 m ²	確認日	2015年2月28日
延床面積	13,759 m ²	確認者	小林哲哉



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (160 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 69% (110 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 69% (110 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 69% (110 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.5

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.9	スコア = 2.0	スコア = 3.5
設計の計画上特段に配慮した事項 low-Eガラスの採用等によるPAL低減率35%以上 / トップライトの採用、アトリウムと連携した換気システム / ERR値35%以上を達成 / 各種エネルギー消費量の消費原単位を用いてのベンチマーク比較が行える / 節水コマの採用、再利用できるユニット部材の採用 / ライフサイクルCO ₂ 概算値での排出率69%	設計の計画上特段に配慮した事項 緑の量、質の確保 / 駐車場、駐輪場の確保	設計の計画上特段に配慮した事項 建築基準法に定められた25%増の耐震性、耐用年数が短いと想定される系統の90%以上のダクト材をガルバリウム鋼板製、機械・配管支持方法がAランク / 構造部材を痛めることなく、更新・修繕が行える

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される